



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・国産材を使用し有害物質の使用も無いため生態系に配慮している。						6.6								15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・木材は再使用や再利用はもちろんのことながら、森林から再生産することができる資源であり、その木材を余すことなく利用し、環境に負荷をかけることなく製材している。									12.5	14.1							
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・現状では水資源の利用は無い。					6.4	6.6											
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】環境保全に対して貢献できるよう取り組んでいるものの規格は取得していないため今後取り組んでいく。			3.9		6	7			12	13.3	14	15					
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社HPにて情報を開示している。									12.6								
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギーの活用について今後検討していく。						7.2				13							
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・森林管理局の管理の下伐採した国有林からの資源のみを使用しており、持続的利用に配慮している。									12.2	13	14	15					
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・公正競争行為に関与しないよう社員に周知徹底している。														16	16.5		
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関与しないよう社員に周知徹底している。														16			
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産について適切な管理を行い保護に取り組んでいる。							8.2	8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・役員を中心に個人情報について適切な管理を実施している。															16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・木材の取扱のみであり、紛争鉱物の取扱は無い。															16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との新規取引の際には相手先について認識を深め取引を実施している。				5			8		10	12	13	14	15	16	17		
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】現状では作成・公表はしていないが今後取り組んでいく。			3				8	9	10							17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

